

## 小テスト・資料の読み取り編

### 特長

- ①教科書の単元に合わせて資料と問題が配列してある。
- ②原典の統計資料にあたりグラフや表を作成しているので、教科書よりも年度が新しい。

### 使い方

- (1) 授業開始と共に配付する。
- (2) 1回目はなぞり書き。
  - ①早く終わった子から、指書きをして待つ。
  - ②約半数の子が終わった時点で、音読の指示を出す。(目安は3分)
  - ③それでもまだ遅い子が追い付いていないようであれば、掲載されている資料から問題を出す。(資料と問題を線で結ばせるなど。囲みにある問題を考えさせてもよい)
  - ④たまになぞり書きがはみ出していないかチェック(隣同士・先生に見せに来るなど)をする。
  - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)
- (3) 2回目は写し書き。
  - ①答え(1回目のプリント)を見ながら解いていい。早く終わった子から、指書きをして待つ。
  - ②約半数の子が終わった時点で、音読の指示を出す。(目安は3分)
  - ③それでもまだ遅い子が追い付いていないようであれば、掲載されている資料から問題を出す。(資料と問題を線で結ばせるなど。囲みにある問題を考えさせてもよい)
  - ④たまに写し書きを間違えていないかチェック(隣同士・先生に見せに来るなど)をする。
  - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)
- (4) 3回目はテスト。
  - ①順番が入れ替わっている。何も見ないで解かせる。
  - ②3分後、隣と交換して丸付けさせる。(丸付けは自分の1回目のプリントを見て行う)
  - ③隣から返却されて間違いや空欄があれば、赤で書き込ませる。
  - ④教師に見せに来させる。全問正解でなくてもきちんと直してあれば合格とする。
  - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)

## CONTENTS

- 1. 資料の読み取り基礎基本
- 2. 地形図の読み取り
- 3. 表の読み取り
- 4. 絵・写真の読み取り
- 5. 棒グラフの読み取り
- 6. 折れ線グラフの読み取り
- 7. 複合グラフの読み取り
- 8. 帯グラフの読み取り
- 9. 円グラフの読み取り

# 1 資料の読み取り基礎基本①

学習日： 月 日  
得点： 点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎ていねいになぞり書きをしましょう。

① 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルである  
読んで、何の資料かを確認する。

ひょう だい  
**表題** を

② 次に、その資料がいつのものであるかを表している

ねん ど  
**年度** を確認する。

③ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表す  
を明記しなければならない。

しゅつ てん  
**出典**

★④ 折れ線グラフと棒グラフは、

へん か  
**変化**

を表すグラフである。

★⑤ 円グラフと帯グラフは、

わり あい  
**割合**

を表すグラフである。

折れ線グラフは横軸で時間を表したいとき、棒グラフは横軸で種類を表したいときに使われます。

⑥ 順位に入らない項目の合計である

そ の た  
**その他**

は順位に含まない。

⑦

ひょう  
**表**

は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。

⑧ 地形図には、地図記号・方位・

しゅく しゃく  
**縮尺**

・等高線の4つの決まりごとがある。

資料の年度を表す際に使われる単位には「年」と「年度」があります。「年」は1月から12月を表し、「年度」は4月から3月を表します。また、年度が書かれていない資料もあります。

# 1 資料の読み取り基礎基本②

学習日：	月	日
得点：		点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎空欄に当てはまる語句を書きましょう。

① 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルである 

--	--

 を読んで、何の資料かを確認する。

ひょう だい

② 次に、その資料がいつのものであるかを表している 

--	--

 を確認する。

ねん ど

③ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表す 

--	--

 を明記しなければならない。

しゅつ てん

★④ 折れ線グラフと棒グラフは、

--	--

 を表すグラフである。

へん か

★⑤ 円グラフと帯グラフは、

--	--

 を表すグラフである。

わり あい

折れ線グラフは横軸で時間を表したいとき、棒グラフは横軸で種類を表したいときに使われます。

⑥ 順位に入らない項目の合計である 

--	--	--

 は順位に含まない。

そ の た

⑦ 

--

 は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。

ひょう

⑧ 地形図には、地図記号・方位・

--	--

 ・等高線の4つの決まりごとがある。

しゅく しゃく

「表題」と「出典」と「年度」は近くに明記されていることが多いので、区別して読み取りましょう。  
棒グラフや折れ線グラフの場合、「表題」の一部または全てが縦軸を表していることがあります。

# 1 資料の読み取り基礎基本③

学習日： 月 日  
得点： 点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎空欄に当てはまる語句を書きましょう。

① 地形図には、地図記号・方位・・等高線の4つの決まりごとがある。

★② 円グラフと帯グラフは、を表すグラフである。

③ 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルであるを読んで、何の資料かを確認する。

④ 次に、その資料がいつのものであるかを表しているを確認する。

⑤ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表すを明記しなければならない。

★⑥ 折れ線グラフと棒グラフは、を表すグラフである。

⑦ 順位に入らない項目の合計であるは順位に含まない。

⑧ は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。